

東播磨・北播磨・丹波(加古川流域圏)地域総合治水推進協議会

上流域ワーキング

議 事 概 要

事項	東播磨・北播磨・丹波 (加古川流域圏)地域総合治水推進協議会 上流域ワーキング	出席者	(随行者・事務局除く) 13名
日時	令和6年10月16日(水) 13:30~15:00	場所	兵庫県柏原総合庁舎 職員福利センター1F会議室
内容	<p>1 開会</p> <p>(1) 開会挨拶</p> <p>(2) 委員及び出席者紹介</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 地域総合治水推進計画の総括について</p> <p>① 取り組みの総括課題と対応、改訂の方向性</p> <p>② 平成26年~令和5年の上流域における取り組みについて</p> <p>(2) 地域総合治水推進計画改定(案)について</p> <p>① 地域総合治水推進計画の改定のポイント</p> <p>② 令和6年~令和15年の上流域における取り組みについて</p> <p>③ 推進計画改定(案)について</p> <p>(3) 今後のスケジュール</p> <p>3 閉会</p>		
資料	<p>議事次第、出席者名簿、配席図</p> <p>資料1 地域総合治水推進計画の総括(取り組みの総括課題と対応、改訂の方向性)</p> <p>資料2-1 平成26年~令和5年の上流域の取り組み実績 (取り組み実績判定基準、達成率、完成・継続等の一覧)</p> <p>資料2-2 平成26年~令和5年の上流域のフォローアップシート(概要)</p> <p>資料3 東播磨・北播磨・丹波(加古川流域圏)地域総合治水推進計画の改定概要</p> <p>資料4-1 令和6年~令和15年の加古川流域全体の主な取り組み</p> <p>資料4-2 令和6年~令和15年の上流域のフォローアップシート(概要)</p> <p>資料5 今後のスケジュールについて</p> <p>参考資料1 地域総合治水推進協議会 設置要綱及び公開要領</p> <p>参考資料2 令和5年度第1回東播磨・北播磨・丹波(加古川流域圏)地域総合治水推進協議会地域総合治水推進計画 議事概要</p>		

1 開会

(1) 開会挨拶（丹波土木事務所所長補佐）

(2) 委員及び出席者紹介（事務局）

2 議事

(1) 地域総合治水推進計画の総括について

①取り組みの総括課題と対応、改訂の方向性

⇒「資料1」の説明を行った。（事務局）

②平成26年～令和5年の上流域における取り組みについて

⇒「資料2-1、2-2」の説明を行った。（事務局）

(2) 地域総合治水推進計画改定（案）について

①地域総合治水推進計画の改定のポイント

⇒「資料3」の説明を行った。（座長）

②令和6年～令和15年の上流域における取り組みについて

⇒「資料4-1、4-2」の説明を行った。（座長）

③推進計画改定（案）について

⇒「東播磨・北播磨・丹波（加古川流域圏）地域総合治水推進計画 本編（案）」の説明を行った。（座長）

(3) 今後のスケジュール

⇒「資料5」の説明を行った。（事務局）

3 閉会

【主な意見】

2 (1) ①取り組みの総括と対応、改訂の方向性

2 (1) ②平成26年～令和5年の上流域における取り組みについて

2 (2) ①地域総合治水推進計画の改定のポイント

2 (2) ②令和6年～令和15年の上流域における取り組みについて

1 資料4-2「令和6年～令和15年の上流域のフォローアップシート（概要）」について、丹波市河川整備課が窓口となり、市各関係部署へ内容を問い合わせ取りまとめて回答したが、内容が反映されていない箇所がある。フォローアップシートの記載内容については、十分に調整していただきたい。（丹波市）

⇒資料の記載内容については、事前に調整させて頂く。（座長）

2 資料4-2「令和6年～令和15年の上流域のフォローアップシート（概要）」に記載のため池における雨水貯留量の確保において、「水利施設管理強化事業」を進められているが、事業の詳細を教えてください。また、今後は丹波市においてもこの制度を活用されるのか。

（座長）

⇒水利施設管理強化事業は、農作がほとんど終わった9月～11月の3ヶ月のうち2ヶ月程度ため池の水位を常時下げておき、台風時期の豪雨に備えるというものである。ため池管理者の取り組みに対し、施設の操作・点検等を実施する費用を国・県・市が支援している。以前から行っていた事業ではあるが、事業の名前が『水利施設管理強化事業』となったのは2,3年前からである。丹波篠山市では平成の頃から進めており、今年度から丹波市でもこの制度を活用し、ため池管理者と協定を結び、事業を実施していく予定である。

（篠山土地改良事務所）

3 防災対策について、今後、行政だけでは災害発生時に立ち行かなくなると考える。国土強靱化計画を参考に、丹波篠山市でも地域との連携・市民意識の向上といった点で防災を考え、市民への啓発に力を入れている。例えば、資料3「地域総合治水推進計画の改訂概要」の減災対策の記載について、行政や地域との連携を踏まえ、地域の盛り上がりや地域住民の意識向上の観点も増やして良いのではないか。また、今回丹波地域でワーキングを行っているため、『丹波の森構想（丹波の森創造計画）』等の地域独自の計画概要を推進計画の中に示せば、丹波らしい表現を盛り込めるのではないか。加古川の上流域は、丹波篠山市と丹波市で担っているという特性もあるため、丹波らしさを示せば良い計画になると思われる。（丹波篠山市）

⇒加古川流域はかなり広いため、上流域らしさはなかなか出しにくいところではあるが、頂いた意見のように「丹波らしさ」は考えられると思う。事務局なりに計画の案を作成するため、また書き方等を相談させて頂きたい。（座長）

- 4 各戸貯留の雨水貯留タンク助成について、加古川の下流域では推進されており、中流域でも啓発されていくと思われる。特に上流域は各戸貯留が進んでいないことから、今後啓発していきたいと考えているが、各市で雨水貯留タンク助成が検討できる方向なのかどうか、意見を聞かせて頂きたい。（座長）

⇒丹波篠山市においては、農地の関係で田んぼダム等の流域対策はできるだけ実施している。雨水貯留タンク助成についても可能な限り進めていければと考えているが、どの部署が対応するかがまだ明確になっておらず、具体的に何ができるかということは公言できない状況である。小さいながらの対策も実施していく必要があるため、この10年間で何とか検討を進めたいということで、フォローアップシートに項目をあげている状況である。

（丹波篠山市）

⇒フォローアップシートの記載内容について、丹波市は「検討」という形で修正をお願いしたいと考えている。というのも、丹波市は広く、公共下水道区域では国の交付金対象とお聞きしているが、合併処理浄化槽区域等の、国の交付金対象とならない区域もある。そのような区域については、以前の県民局とのヒアリング時に県からの補助はないのかという質問した際には、無いということだったため、市が単独で助成しなければならない。そのため、市のどこの部署が対応するかということも含めて、関係部署で協議をしていかなければならず、現在は課題として挙げているところであり、今後検討はしていきたいと考えている。（丹波市）

⇒この10年間の計画の中で、実施できる程度の手書きぶりになればと思っている。そのような形で各戸貯留を進めて頂きたい。（座長）

2 (2) ③推進計画改定（案）について

2 (3) 今後のスケジュール

【まとめ】

今回、現行計画の現状の課題と改訂の方向性、次期地域総合治水推進計画（案）について、ご説明させて頂き、主に以下の意見を伺った。

- ① 行政や地域との連携を踏まえた地域の盛り上がりや、丹波の森構想などの丹波地域の特性を加え、上流域の「丹波らしさ」の表現を盛り込んでいく。
- ② 推進計画の記載内容については、事前に調整しながら進めていく。

本日の意見を踏まえ、令和7年1月下旬頃に予定している第2回地域総合治水推進協議会に向け、事務局で次期地域総合治水推進計画（案）の作成を進めさせていただく。

（座長）

東播磨・北播磨・丹波（加古川流域圏）地域総合治水推進協議会
上流域ワーキング 出席者名簿

日時：令和6年10月16日（水）13:30～15:00

場所：兵庫県柏原総合庁舎 職員福利センター 1F会議室

【出席者】

属性	氏名	所属等	出欠席	代理人氏名	代理人所属等
県	乳原 正文	丹波県民局丹波土木事務所 所長補佐（企画調整担当）	出席		
	松浦 元治	丹波県民局丹波土木事務所 副所長（技術）	出席		
	北垣 一成	丹波県民局丹波農林振興事務所 副所長	出席		
	藤原 猛雄	丹波県民局県民躍動室 総務防災課班長（企画防災担当）	出席		
	植杉 武生	丹波県民局篠山土地改良事務所 所長補佐兼農村計画課長	出席		
市	森本 康幸	丹波篠山市市民生活部長兼市民安全課長	欠席	安井 聡博	市民安全課 副課長兼防災係長
	森本 昌之	丹波篠山市農都創造部農都整備課長	出席		
	小林 克巳	丹波篠山市まちづくり部地域整備課長	欠席	九鬼 雅寛	地域整備課 係長
	加賀山 敦	丹波市建設部河川整備課長	出席		
	中谷 一志	丹波市建設部農地整備課長	出席		
	早形 繁	丹波市生活環境部くらしの安全課長	出席		
県民	山田 俊朗	丹波篠山市自治会長会会長	出席		
	野垣 克巳	丹波市自治会長会理事	欠席	西垣 勝徳	上久下地域自治協議会

議事録署名人

座長：丹波土木事務所所長補佐
（企画調整担当）

乳原 正文

丹波土木事務所 副所長（技術）：

松浦 元治